

令和6年9月定例教育委員会議事録

開 閉 日 時	令和6年9月24日 午後 1時30分開会 午後 2時37分閉会	
開 催 場 所	志木市役所 教育委員会議室	
委員の出席状況	出 席	柚木博教育長、八代豊教育長職務代理者、 岩澤千恵子委員、上野幸子委員、飯田昌利委員
	欠 席	なし
説明のため出席した者の氏名・職名	今野教育政策部長、成田参事兼教育総務課長、佐野参事兼学校教育課長、土崎参事兼生涯学習課長、樺嶋いろは遊学館長、佐藤学校教育課副課長	
会 議 書 記	石田教育総務課主事	
傍 聴 人	1人	
会 議 内 容	議 題 第56号議案 令和7年度当初教職員人事異動方針について  その他	

審議内容（発言者、発言の要旨）

○**柚木教育長**

令和6年9月定例教育委員会会議の開会を宣す。  
傍聴希望者について、傍聴を許可した。

＊＊ 傍聴人 入場 ＊＊

議事録署名委員に上野委員を指名した。  
会議書記に石田主事を指名した。  
8月定例教育委員会議事録を各委員に諮り、承認された。

◎**教育委員会報告**

○**今野教育政策部長**

令和6年8月定例教育委員会後の教育委員会の主な動きを報告する。

- ・ 8月23日 志木ジュニアバドミントンクラブ 表敬訪問
- ・ 8月26日 田子山富士保存会・DVD寄贈  
朝霞地区教育委員会連合会理事会  
志木市スポーツ推進委員委嘱状交付式
- ・ 8月28日 定例校長会
- ・ 8月29日 令和6年度志木市議会9月定例会 開会  
市内小中学校2学期始業式
- ・ 9月3日 志木市議会9月定例会 総括質疑
- ・ 9月4日 ミドルリーダー研修会
- ・ 9月5日 志木市立中学校英語学習発表会
- ・ 9月8日 市民柔道大会
- ・ 9月9日 埼玉県南部教育長会議・教育長協議会（書面会議）
- ・ 9月10日 志木市議会9月定例会・市民文教都市常任委員会（12日まで）
- ・ 9月12日 宗岡中学校修学旅行（14日まで）
- ・ 9月14日 市民合気道大会
- ・ 9月17日 定例教頭会
- ・ 9月18日 朝霞班英語弁論大会  
志木市議会9月定例会・一般質問（20日まで）
- ・ 9月19日 わんぱく相撲全国大会出場者 表敬訪問  
宗岡第四小学校修学旅行（20日まで）

令和6年志木市議会9月定例会について  
教育委員会への一般質問の答弁内容について説明

○飯田委員

9月5日に行われた、志木市立中学校英語学習発表会はどのような形で実施しているものなのか。

○佐野参事兼学校教育課長

英語の弁論大会のような形で暗唱部門とスピーチ部門に分かれており、今回の大会は予選という位置づけで、後日朝霞地区の大会へ進出することになる。審査員は、慶応志木高校、県立志木高校の英語の先生にお願いし、本市の英語が担当教科の中学校長が、発表会のコーディネートや運営を行った。

◎第56号議案 令和7年度当初教職員人事異動方針について

○柚木教育長

第56号議案 令和7年度当初教職員人事異動方針について、説明を求める。

○佐野参事兼学校教育課長

本議案は、本市で定める令和7年度当初教職員人事異動方針について議決を求めるものである。はじめに、1の基本方針では、県人事異動方針に基づき、長期的展望に立って円滑適正な人事異動を行い、本市の学校教育の充実・進展を図るものとしている。次に2、転任・転補に関する内容では、(1)適材を適所に配置すること(2)本人の意向を把握し基本方針に基づいて行うこと、(3)小中一貫教育の推進を図るため、小中学校間の異動をこれまで以上に積極的かつ計画的に行うこと、(4)同一校在職10年以内の異動、特に7年以上の者については積極的に異動を行うこと、(5)は原則として異動を行わないものに関する記載となっている。続いて(6)新採用については採用後6年以内の異動、原則他市町村への異動であること、飛んで(11)特別支援学級の担当については積極的な配置、配慮を行うこと、(12)様々な状況については可能な範囲で配慮を行うことを定めている。最後に3のその他として、学校長の人事異動における責務を記載している。以上を本市の人事異動方針とし、今後、人事異動事務を適切適正に実施したいと考えている。

○八代教育長職務代理者

(6)新採用の教員、事務職員等について、採用6年以内に異動を行うとあるが、今年度対象の教員は何人を見込んでいるのか。

○佐野参事兼学校教育課長

10数名程度だったと記憶している。

○八代教育長職務代理者

基本的に異動の意向は通るのか。

○柚木教育長

中学校の場合は担当教科があるため、意向先の学校と同じ教科、同じ異動のタイミングでないと受け入れできないという場合もあるが、小学校の場合は教科等の制約が少ないため、意向どおりにいくケースもある。

○八代教育長職務代理者

志木市に馴染んだ異動方針であると感じた。

○佐野参事兼学校教育課長

基本的には県の推進している内容、方針に則っているが、特に(3)小中一貫教育の推進では、令和7年度からスタートした小中一貫教育、令和9年度義務教育学校の開校に向けて、人事の面や組織の面でも整備を図るという狙いから、今回付け加えた。

○飯田委員

新規採用後の6年間市内で教員を経験した後は、市外に異動となり志木市に戻ることができないということになるのか。

○柚木教育長

経験人事として新採用から6年経つと他市に異動するというのが原則である。方針に則ると、7年以上の者は積極的に異動となるが、その年数以内に異動することもある。

○飯田委員

他市から志木市に戻るときには、中堅並びに管理職を目指していく先生となって戻ってきてもらうのが理想だなと思いつつながら、資料を拝見した。

○佐野参事兼学校教育課長

県の方針では、採用後さまざまな経験を積んで子ども達のために資質・能力を高めようという狙いで、成長のための人事という捉え方を打ち出しているため、本市での6年間を還元してもらえればという思いがあるが、理想どおりにいかない場合がほとんどである。大きな市では、他市町村に異動することが難しい場合において、市内で異動することもあるが、志木市については、ほぼ他市町村への異動という形をとっている。

○飯田委員

本市で懸命に6年間頑張っていたからには、志木市に戻ってきたくなくなるような魅力ある環境作りが必要であると感じた。

○柚木教育長

他に質問はあるか。

○全委員

なし。

○**柚木教育長**

第56号議案 令和7年度当初教職員人事異動方針については、原案のとおりととしてよろしいか。

○**全委員**

異議なし。

○**柚木教育長**

第56号議案 令和7年度当初教職員人事異動方針については、原案のとおり可決された。

◎**その他**

今後の生涯学習課事業について

○**土崎参事兼生涯学習課長**

生涯学習課では年度末に向けてさまざまな事業の実施を予定しているため、分野ごとに説明させていただく。まず、生涯学習・文化財関係で、文化体験道場では、子ども達が地域の中で芸能文化に触れることで、将来にわたり伝統文化を継承していくことを目的とした事業であり、今年度はその1、その2に分けて実施をしている。その1では、7月から10月に民謡、茶道、華道、箏曲、邦舞踊、三味線を実施しており、民謡、華道と邦舞踊は、11月に開催する市民文化祭において発表の場を作ろうと考えている。その2では、1月から2月に太鼓、邦舞踊を実施し、2月に開催する芸能祭で発表していただく予定である。次に、市民文化祭と美術展覧会は、11月2日から4日までの3日間で開催を予定しており、美術展覧会と市民文化祭の展示発表は市庁舎で、市民文化祭の芸能発表は総合福祉センターで実施を予定している。つづいて、郷土資料館の秋の特別展については、「志木のまちなみと商家・商店～江戸から昭和まで～」と題し、土地の歴史や文化が現れる街並みに焦点を当て、志木の街並みを特徴付ける本町通りと周辺の商家・商店を中心にイラストや絵図、写真、広告等の資料展示を予定している。また、特別展に合わせ、昭和30年代の本町通りを知る方々による座談会を行い、生きた歴史を次代に引き継ぐ機会にしたいと考えている。つづいて子ども大学しきは、十文字学園女子大学とNPO法人アンサーズネットと志木市教育委員会が実行委員会となり、子どもたちの知的好奇心を刺激する学びの機会を提供する目的で毎年度実施しており、今年度の内容については現在検討中である。次に、人権関係では、市民の方々に正しい知識を身につけてもらうことを目的に、毎年さまざまな研修会や映画上映会を実施しており、その中でも現地研修会では、昨年度中止となってしまった、関東大震災の際に起こった差別事件である福田村事件について実施する。次に、スポーツ関係では、志木市スポーツ推進委員による体力測定やニュースポーツとしてモルックの体験を行う。スポーツ施策としては今年度アーバンスポーツに力を入れているが、今後はさらに年齢を問わず誰もが気軽にできるニュースポーツの周知、紹介をしていきたいと考えている。最後に、青少年育成事業では、「チャレンジ サバめしだホイ！」は青少年育成推進委員とボーイスカウトの合同事業で、今年度は宗岡第四小学校を会場として実施する。そのほかは資料のとおりである。

### ○飯田委員

特別展に関連して、志木には昔、大きな七夕のイベントがあったという話を聞いたことがある。昔は本当にたくさんのお店があり、その七夕は商店の人達のコンテストだったそうで、今回事業を実施するにあたり、市のことをいろいろと調べるとのことなので、当時について調べてみてはどうか。

### ○土崎参事兼生涯学習課長

参考にさせていただく。

第22回いろはふれあい祭り開催について

### ○樺嶋いろは遊学館長

第22回いろはふれあい祭りは、遊ぶ心、学ぶ心、集う心、3つの和をコンセプトに、学社融合を体現している文化祭で、10月11日から13日にかけて開催する。今年度は、昨年はなかった模擬店が少ないながらも復活し、開会式は志木小学校4年生の児童と連合婦人会の皆さんが志木音頭を歌い踊る予定で、ゲストとしてカパル、コバトンが登場する。また、新企画として、体育館にて少年野球チームによるストラックアウトと、ミニバスチームによるフリースロー大会を行う予定である。2日目は恒例の市長、教育長、志木小学校長の読み聞かせを行い、最終日は閉会式において紙飛行機大会を実施する。模擬店が復活するにあたり、前回の来場者数をどの程度上回るのか、今後の模擬店の在り方を考える上でも注視していきたい。お祭りの期間中は、市民会館の駐輪場を閉鎖し、志木小学校プール跡地の駐輪場に誘導する形を取る予定である。

### ○飯田委員

志木小学校プール跡地の駐輪場の運営に関して、これまでに何かトラブル等はないか。

### ○樺嶋いろは遊学館長

前市民会館の駐輪場が未だ使用できる状態のため、利用される方がほとんどいないのが現状であり、トラブル等も特に起きていない。今回のお祭りで志木小側の駐輪場を使用することが、ひとつの呼び水になればと思っている。

学社融合事業「いのちを学ぶ人権講座～みんな違うから面白い～」の実施報告について

### ○樺嶋いろは遊学館長

学社融合事業は、いろは遊学館が企画する人権講座を志木小学校の授業として公開したものである。当日の運営等はいろは遊学館で担当し、市民の聴講も可能としたが、基本的には6年生が対象の90分授業で、「みんな違うから面白い」と題し、障害者への理解と共感を実感してもらうことを狙いとし、車椅子のイメージを一新したいという講師の思いのもと実施した。講師には車椅子ダンサーとしてリオデジャネイロパラリンピック、東京パラリンピックでパフォーマンスを披露された、神原健太氏をお迎えした。講師の紹介後、神原さんご自身のお話や車椅子ダンスパフォーマンスをご披露いただき、児童からは大きな歓声と驚き

の声が上がっていた。なお、今回の参加者は児童135人、一般の方12人であった。

事務局より、次回定例教育委員会の日程を確認する。

○**柚木教育長**

他になければ、これをもって令和6年9月定例教育委員会を閉会する。

教育長

会議録署名委員

(※署名は原本)